

## 見つけよう！ 夏休みの読書三余

読書三余とは読書をするのに都合のよい三つの余暇のことをいいます。

1800年ほど前、中国（魏）に董遇とうぐうという偉い人がいました。その董遇が弟子に「読書を百回しなさい。百回読めば自然に理解できるようになります」と言いました。そうすると弟子が「百回も読む暇がありません」と答えました。すると董遇は「暇がないことはないでしょう。三余にしなさい（余とは暇な時間のこと）。三余とは、一年のうちでは農作業の忙しくない『冬』、一日のうちでは『夜』、それから農作業のできない『雨降り』の時です」と答えました。このことが読書三余の由来です。

昔と今では、生活もずいぶん違いますので、読書三余も同じではありません。大切なのは、時間を有効に使い、本に親しむ時間をつくることです。みなさんにはいくつになっても本に親しみ、自分で新しいことを学んだり、学んだことを深めたりできる力を身につけてほしいと願っています。ぜひ、図書室を活用して、読書を通じて知識の幅を広げ、深めてほしいと思います。本には未来の夢や生き方のヒントがたくさん詰まっています。

**※箕島中学校の令和2年度図書年間貸出冊数は4,163冊でした。今年度は目標5,000冊です！**

〈保護者のみなさまへ〉。

本校の子どもたちの読書量の現状は個人差が大きいと感じます。子どもたちにとって、視野を広くして考え方や自分の幅を広げていくことは非常に大切です。そのことが、将来の自分の夢や心の幸せにつながっていくことも少なからずあるのではないのでしょうか。

視野を広くして考え方や自分の幅を広げていくには読書が非常に有効です。学校では朝の活動に読書の時間を設けているところです。各種調査などでも、子どもに限らず、大人においても活字離れ、読書離れが指摘されています。これを機会に、ご家庭においても読書の推進についてご協力をいただけると幸いです。

### R3全国学力・学習状況調査質問紙調査(3年生)

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)

